

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

2022年4月～6月期

第105回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 令和4年1月～3月比
  - (2)前年同期比 令和3年4月～6月比
  - (3)来期見通し 令和4年7月～9月見通し
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

## 1. 実施概要

### (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	137社
回答率	27.4%

(業種別)

製造業	42社
建設業	35社
卸売業	9社
小売業	26社
サービス業	25社
合計	137社

### (2) 調査対象月

2022年4月～6月期

### (3) 調査依頼期間

2022年7月1日(金) ～ 2022年7月15日(金)

### (4) 調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

### (5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

### (6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

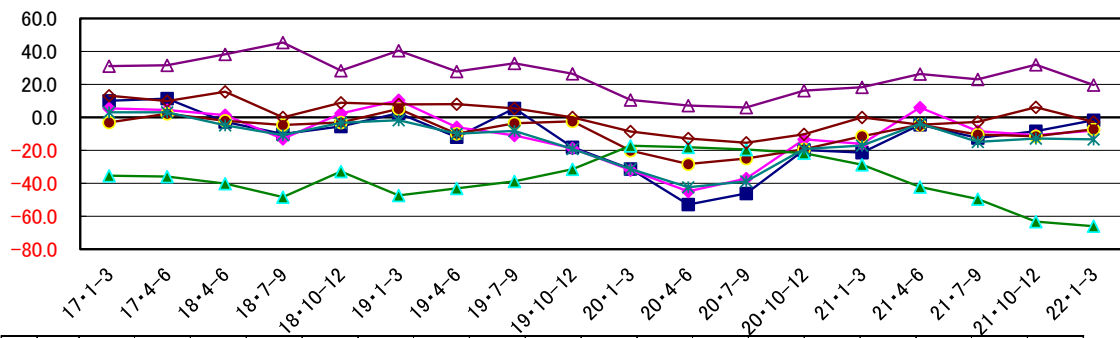
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味です。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )
資金繰りDI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )
仕入価格DI	=	(下落 " )	—	(上昇 " )
雇用状況DI	=	(不足 " )	—	(過剰 " )
設備投資DI	=	(拡大 " )	—	(減少 " )
業況DI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )

## 2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの6か年の推移)



	17-1-3	17-4-6	18-4-6	18-7-9	18-10-12	19-1-3	19-4-6	19-7-9	19-10-12	20-1-3	20-4-6	20-7-9	20-10-12	21-1-3	21-4-6	21-7-9	21-10-12	22-1-3
■ 売上	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5	2.6	-11.9	5.5	-18.1	-31.4	-52.9	-46.2	-19.9	-21.4	-4.4	-12.4	-8.4	-1.8
◆ 採算	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4	10.3	-6.0	-10.9	-18.9	-32.0	-44.9	-37.1	-13.3	-16.0	5.9	-8.4	-10.7	-8.1
● 資金繰り	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2	5.2	-9.9	-3.7	-2.4	-20.3	-28.3	-25.0	-19.4	-11.5	-4.4	-10.5	-11.5	-7.3
▲ 仕入価格	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8	-47.4	-43.0	-38.9	-31.5	-17.2	-18.1	-19.5	-21.6	-28.7	-42.2	-49.6	-63.3	-66.1
△ 雇用状況	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4	40.5	27.8	32.7	26.4	10.5	7.2	6.0	16.2	18.3	26.3	23.1	32.0	19.6
◇ 設備投資	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8	7.8	8.0	5.5	0.0	-8.6	-12.9	-15.4	-10.3	0.0	-4.4	-2.8	6.2	-2.7
* 業況	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3	-1.7	-10.0	-8.3	-19.2	-31.4	-42.4	-38.8	-19.1	-17.2	-3.7	-14.9	-12.9	-13.4

## 3. 概況

### (1) 今期の特徴

日常生活の回復が進み、イベントの再開や県民割等の需要喚起策で、外食・宿泊関連のサービス業は客足が戻った企業も多い。また3年ぶりの行動制限のないゴールデンウィーク等により、個人消費が回復し小売業、卸売業ともに数値の改善がみられた。一方で、資源・資材価格の高騰・供給不足の長期化により製造業、建設業では業況悪化がみられた。

### (2) 来期の見通し

行動制限緩和による売上回復に期待感が高まる一方、新型コロナウイルスの感染状況で左右されるため先行きが見通せないと厳しい見方をする企業が多い。また新型コロナウイルスの影響とウクライナ情勢に加えて、原油価格高騰が業況悪化に拍車をかけて厳しい状況が続くとのコメントがみられた。

### (3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」、4位「熟練技術者(従業員)の不足」、5位「原材料・人件費以外の経費の増加」という結果になった。

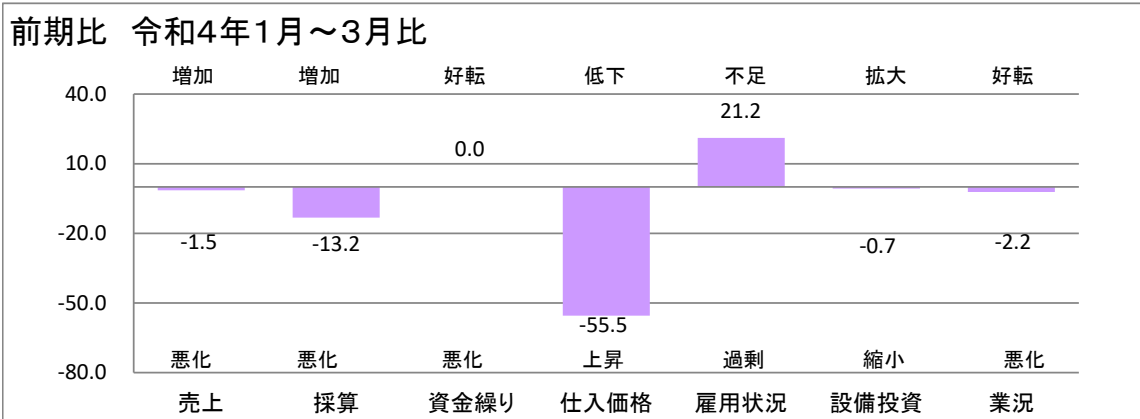
### (4) 今後の対応策

1位「生産性を向上したい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「経営の多角化を図りたい」という結果になった。

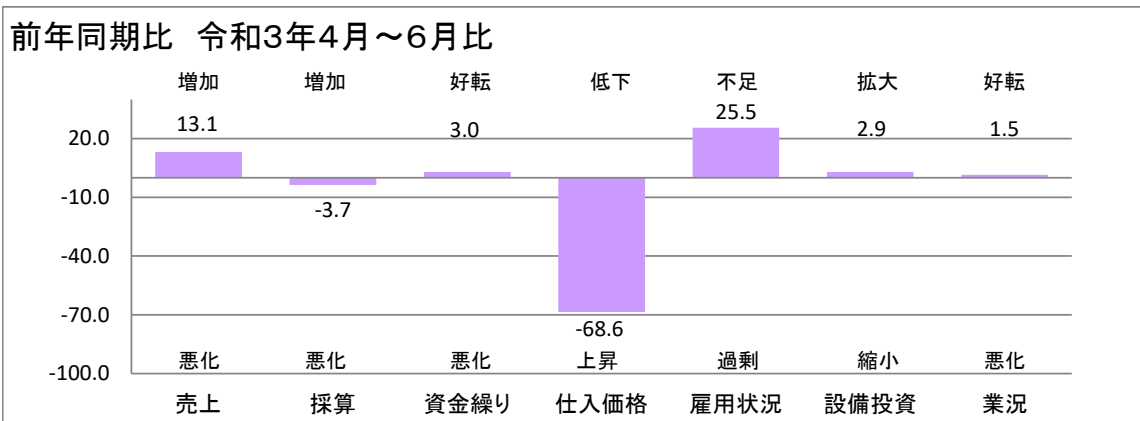
### (5) 総括・分析

今期は日常生活の回復が進み、春のイベントや県民割等の需要喚起策の実施や、3年ぶりの行動制限のないゴールデンウィークに伴う人流増加で全業種においてマイナス幅が縮小した。一方で、資源・資材価格の高騰スピードが速く、価格転嫁を行えていない企業が多いことに加え、円安による輸入物価の上昇で、建設業や卸売業では業況が悪化した。来期の見通しとしては、新型コロナウイルスの感染状況にされるため見通しが立たないとのなど、厳しい見方をする企業が多い結果となった。

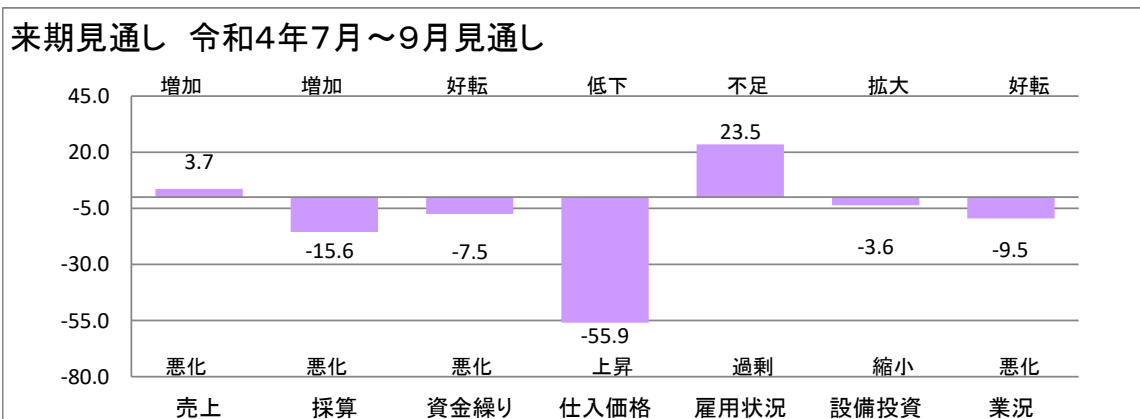
#### 4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。前回調査の数値と比較すると各項目ともマイナス幅が縮小し、若干の改善が見られる結果となった。消費マインドが改善され、売上が上がったとのコメントがみられた。



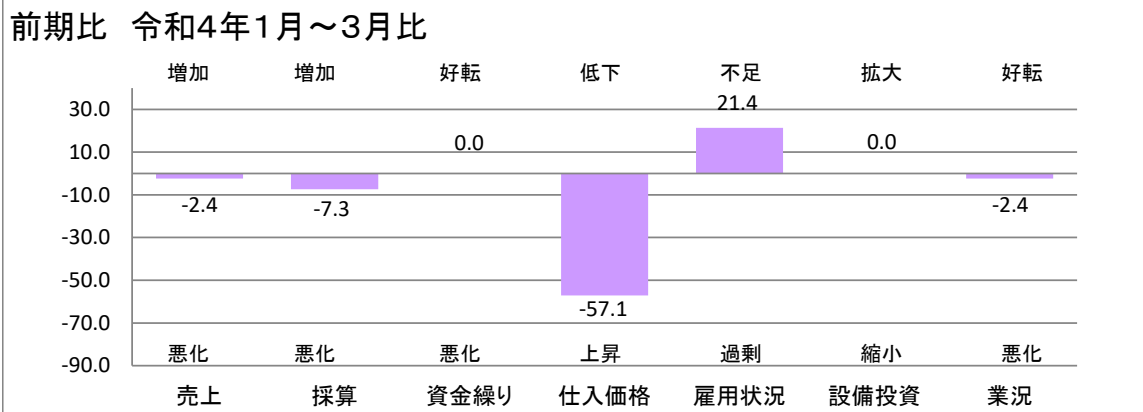
前年同期比と比較すると、採算DIと仕入価格DI以外の項目はプラスの数値を示す結果となった。今期は前年から大きくウィズコロナが進んでおり、行動制限のないGW等により売上が例年並みに戻ったとのコメントが見られた。一方、物価上昇や円安による価格上昇を交渉できていないなどのコメントもみられた。



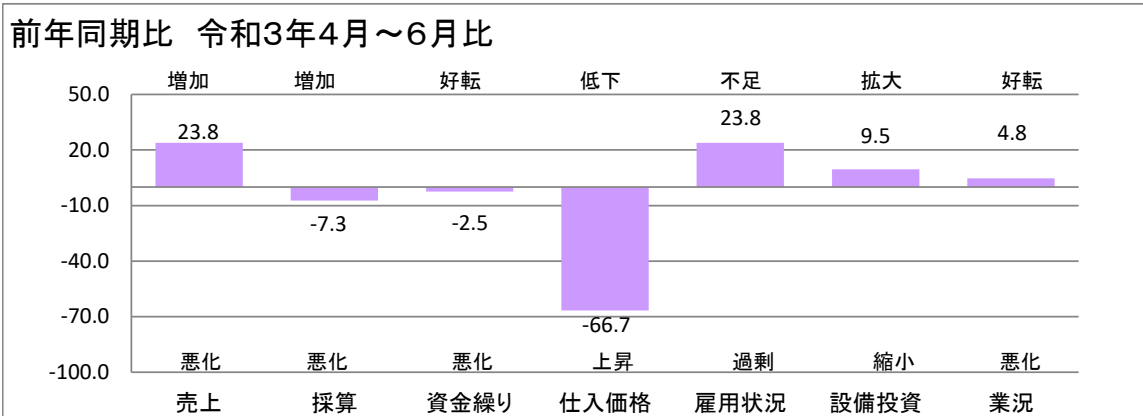
来期の見通しに関しては、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他項目はマイナスの数値を示す結果となった。今期の動きから、来期は景気の持ち直しを期待しているコメントもあったが、材料費の高騰による利益面の圧迫を懸念しているコメントが多くみられた。

## 5. 業種別の景気動向

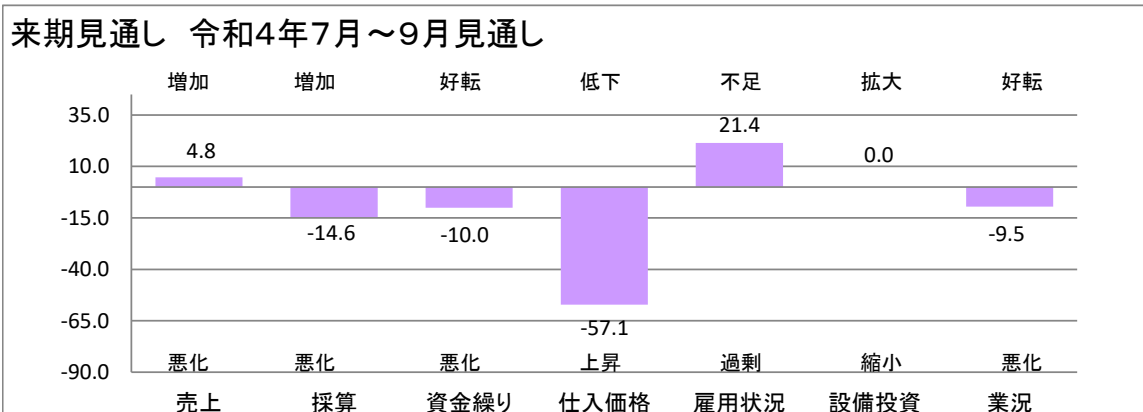
### (1) 製造業



前期と比較すると、資金繰りDIと設備投資DIは0、雇用状況は不足の数値を示し、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。採算DIのマイナス幅は改善されたが、資材や原材料、運送費が高騰しているため景況感の変化はないとのコメントがみられた。

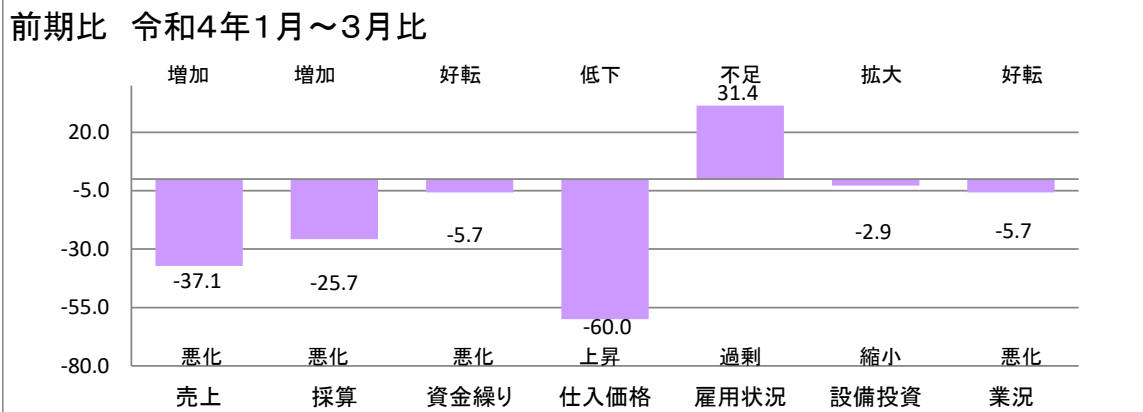


前年同期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況は好転、その他の項目はマイナスを示す結果となった。新型コロナウイルスの影響は若干落ち着いたが、生産コストの上昇を価格転嫁できていない企業が多くみられる。

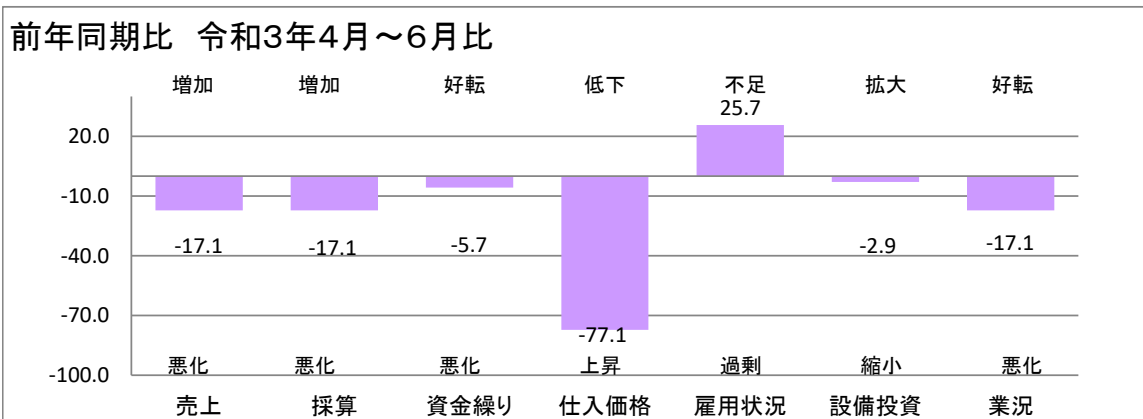


来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、その他の項目はマイナスを示す結果となった。売上は上昇傾向にあるが原材料価格の上昇などにより、先行きが見えないとのコメントがみられた。また、今後も多くの資材が値上げを予定されており、動向を不安視する企業が多くみられた。

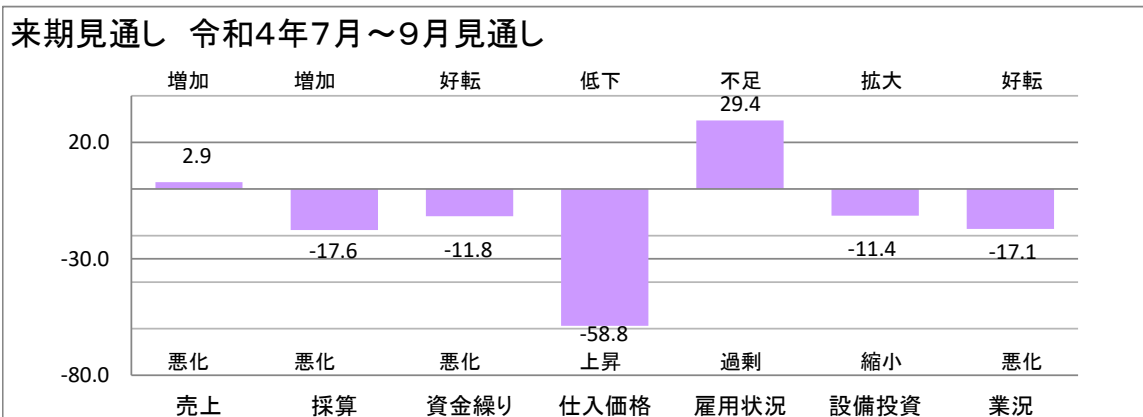
## 5. 業種別の景気動向 (2) 建設業



前期と比較すると、仕入価格DIが△60と大きく上昇を示している。資材価格や納期の遅れ等の影響はあるが、不変と答えた企業があった。また、建設業においては第一四半期は受注が少なく秋口にかけて忙しくなる企業も多く、前期と比較するとマイナスを示す値が多くみられた。



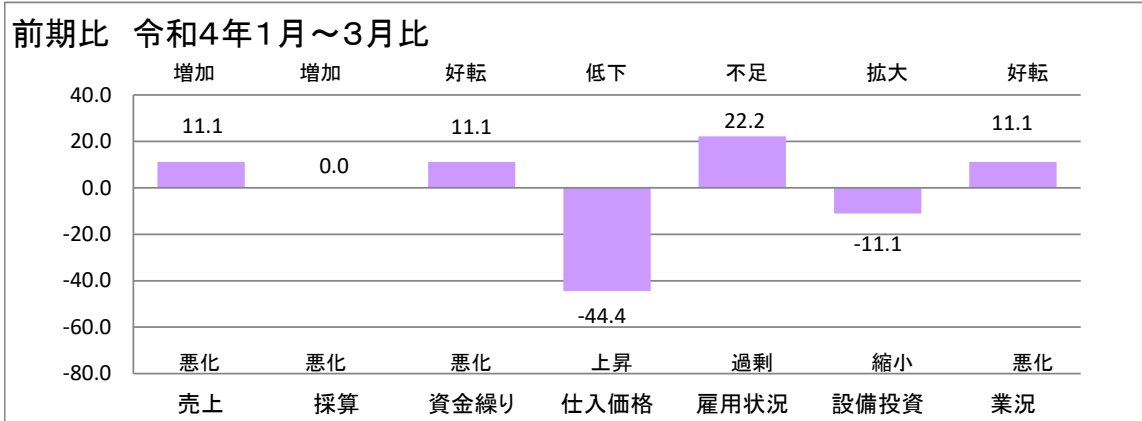
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足を示し、その他の項目はマイナスを示す結果となった。特に仕入価格DIは△77を超える値を示し、前年からの資材価格等の高騰が影響していることが伺える。多少の見通しが立っているとのコメントもあったが、多くの企業は業況が不変または悪化と答える結果となった。



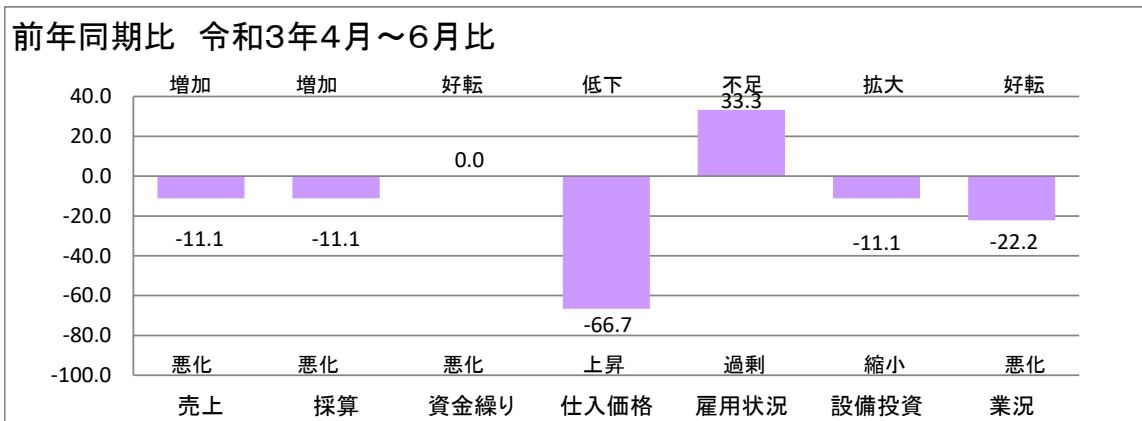
来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他項目はマイナスを示す結果となった。来期についても不変と答える企業が多く、資材価格の影響により先が見えないとのコメントがあった。ある企業においては、木材価格が高止まりしており、戦争が長引けば輸入材の高騰が予想されるとのコメントがあった。

## 5. 業種別の景気動向

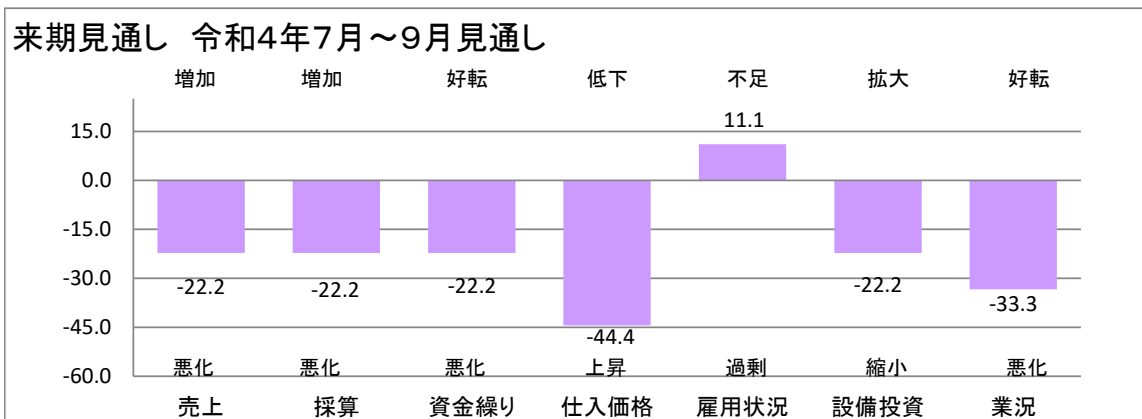
### (3) 卸売業



前期と比較すると、仕入価格DIと設備投資DIがマイナスの数値を示し、その他の項目はプラスまたは0を示す結果となった。行動制限等が緩和された今期と比較すると、多くの項目で好転する結果となった。コロナの影響が小さくなり行動制限のないGWや週末を迎えたことに伴い、売上が増加したとのコメントがみられた。



前年同期と比較すると、資金繰りDIは0、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。特に仕入価格DIは△66.7を示しており原油価格及び物価の上昇、円安による仕入れコストの増加で業況が悪化していることが伺える。建築木材製品販売の事業では、木材価格の高騰は落ち着いたが住宅関連資材の高騰が響いているとのコメントがあった。

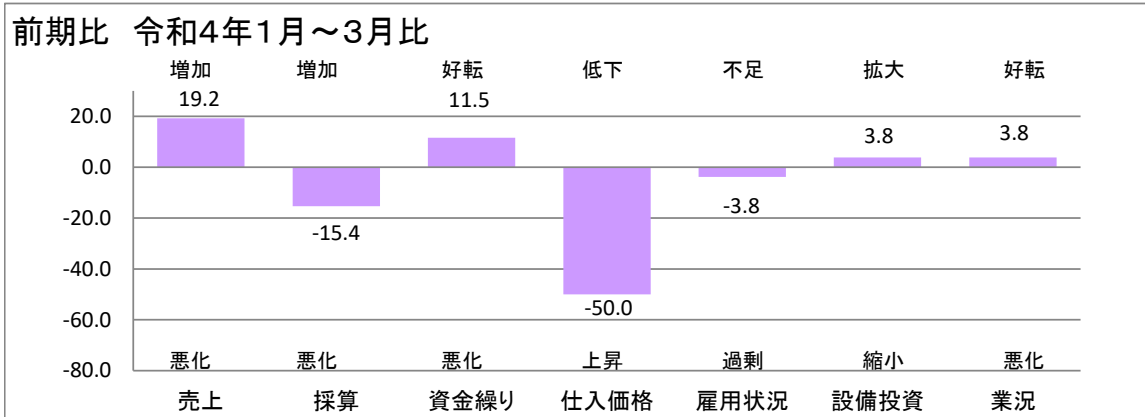


来期の見通しとしては雇用状況が不足を示し、その他の項目は全てマイナスの数値を示す結果となった。原油価格や物価上昇により先行きを不安視する企業が多い一方、行動制限緩和の状況が続けば多少は良くなると前向きに捉えているコメントもあった。

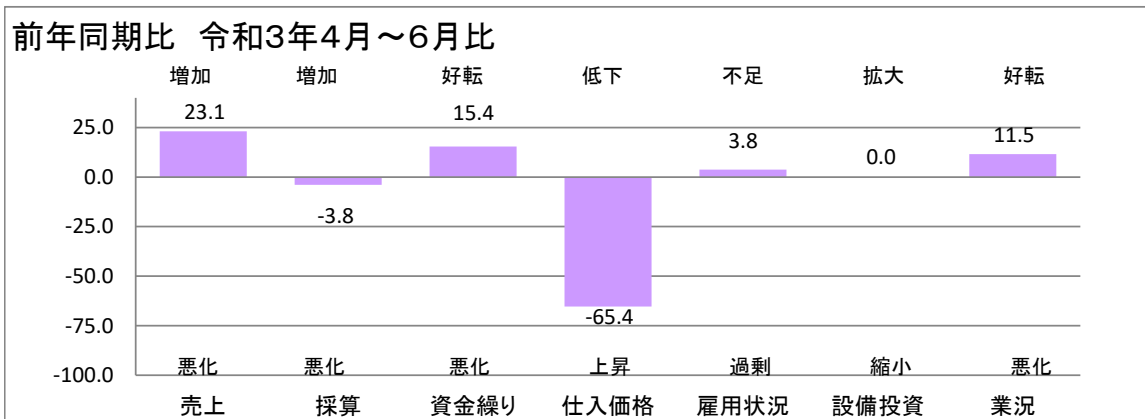


## 5. 業種別の景気動向

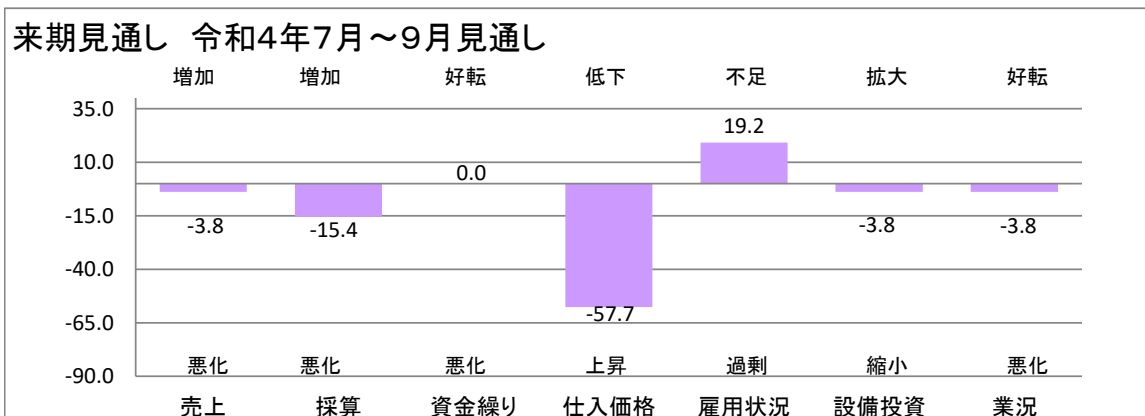
### (4) 小売業



前期と比較すると、採算DIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況は過剰を示し、その他の項目はプラスを示す結果となった。新型コロナウイルスの沈静化による、人流の回復で売上は増加したものの、円安による仕入れコストの増加や、燃料価格の高騰により仕入価格DIは大幅にマイナスの数値を示したと思われる。



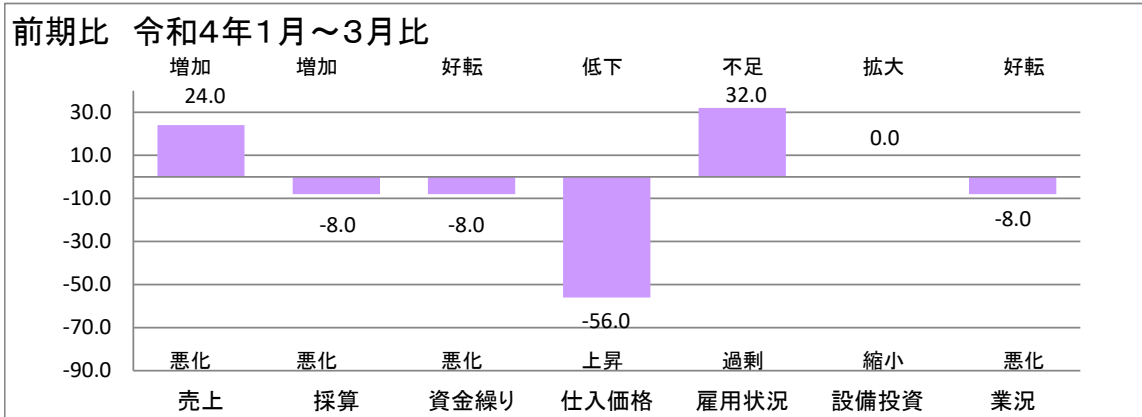
前年同期と比較すると、採算DIは悪化、仕入価格DIは上昇、その他の項目は0またはプラスの数値を示す結果となった。一部の企業では、ウズコロナ及び消費マインドの変化によって状況が好転したとのコメントがあった。また仕入価格と比例して売上も増加するため、今後は生産性向上に努めるとのコメントもあった。



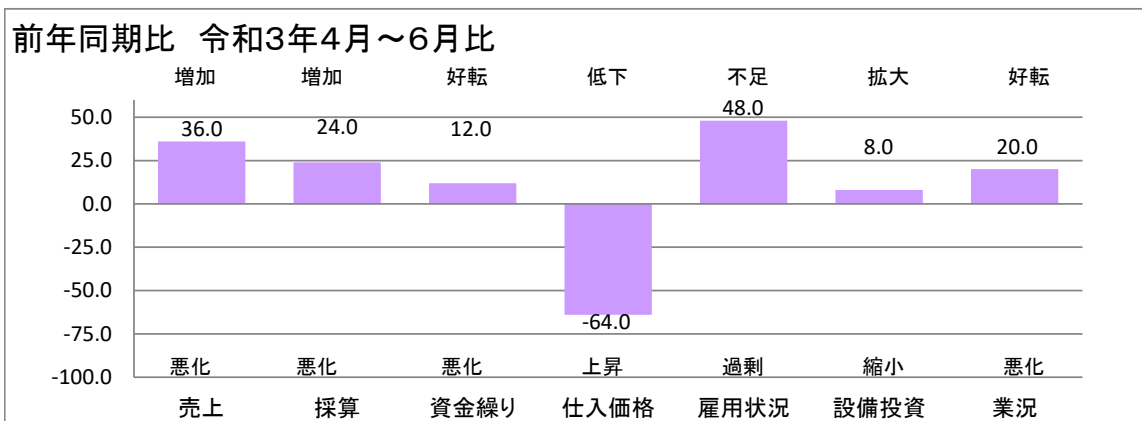
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスを示す結果となった。中でも仕入価格DIは△57.7を示し、仕入価格の上昇が全ての項目に悪影響を与えていると考えられる。新型コロナウイルスや原油価格の高騰、世界情勢の不安定感を鑑みると今後も状況の変化はないとのコメントがみられた。

## 5. 業種別の景気動向

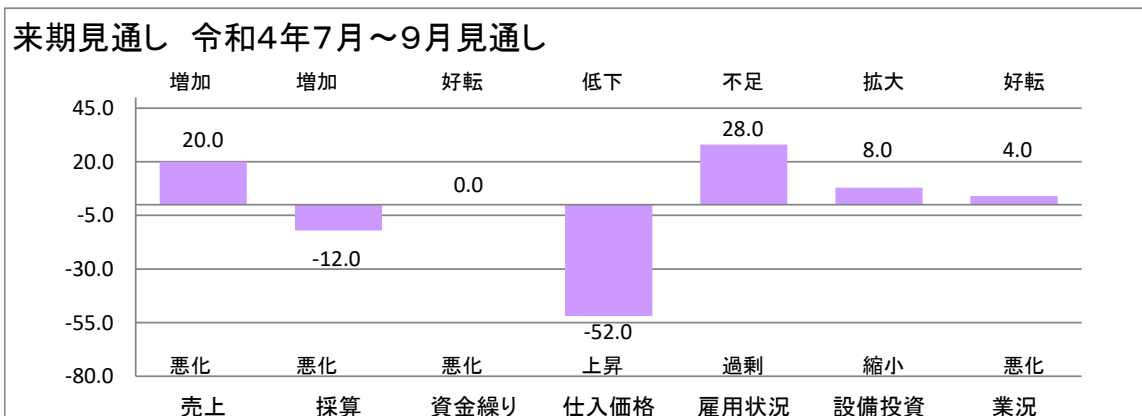
### (5) サービス業



前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況はDIは不足、その他項目は0またはマイナスを示す結果となった。サービス業においても仕入価格の上昇が響いており、仕入価格DIが大幅にマイナスを示した。今期はまん延防止等重点措置の制限がなく、ジモミヤタビキャンペーン等の行われたことにより、人流が増え売上の増加に繋がったとのコメントがあった。



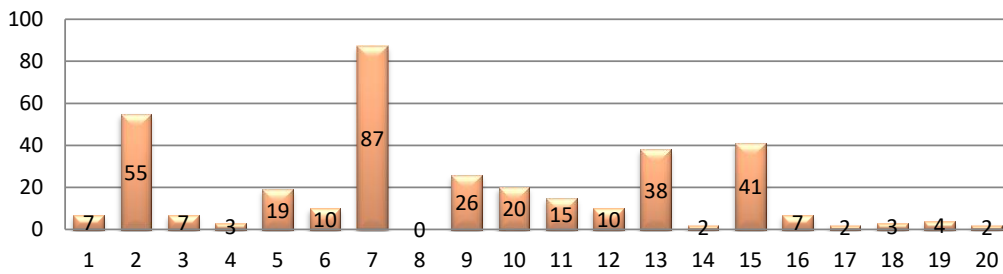
前年同期と比較すると、仕入価格DIが上昇を示し、その他の項目はプラスの数値を示す結果となった。需要喚起策による人流の回復で、飲食・宿泊業を中心に回復したとみられる。一部の企業では制限のない連休に加え、ジモミヤタビキャンペーン等の対応で人手不足になっているとのコメントがあった。新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、厳しい見方をする企業が多い。



来期の見通しは、採算DIは悪化、仕入価格DIは上昇、その他の項目は0またはプラスの数値を示す結果となった。来期以降も需要喚起策の拡大を期待する声が多いが、物価上昇や人手不足にも関わらず人件費高騰という構図にならないか心配するコメントがみられた。

## 6. 経営上の問題点

### 全業種



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

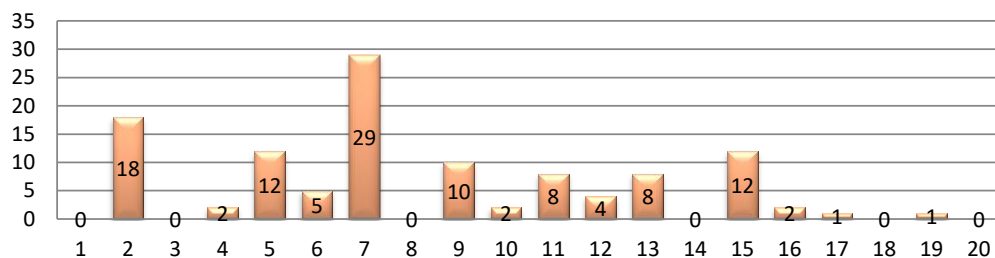
4位 熟練技術者(従業者)の不足

2位 需要の停滞

5位 原材料・人件費以外の経費の増加

3位 従業員の不足

### 製造業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

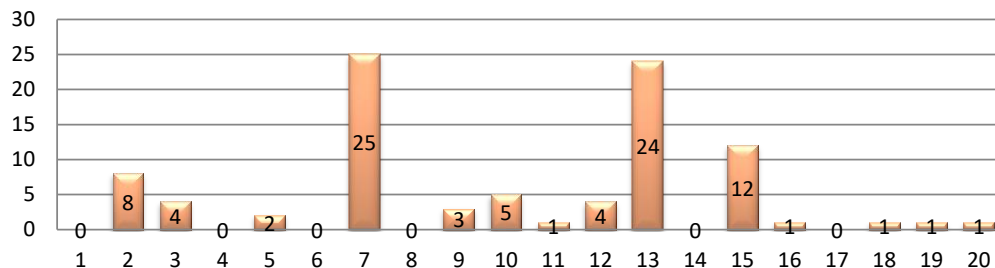
3位 従業員の不足

2位 需要の停滞

5位 原材料・人件費以外の経費の増加

3位 生産設備の不足・老朽化

### 建設業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 需要の停滞

2位 熟練技術者(従業者)の不足

5位 人件費の増加

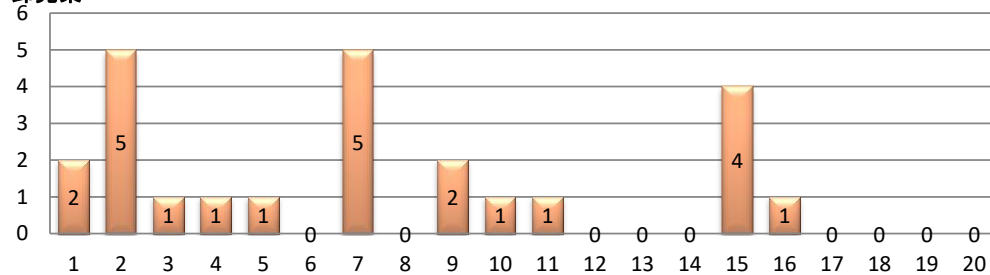
3位 従業員の不足

### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 6. 経営上の問題点

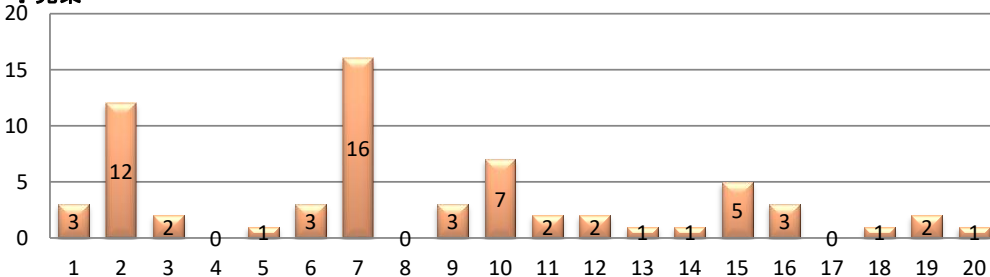
### 卸売業



順位

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1位 需要の停滞          | 4位 県外大手企業の進出による競争の激化 |
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 原材料・人件費以外の経費の増加   |
| 3位 従業員の不足         |                      |

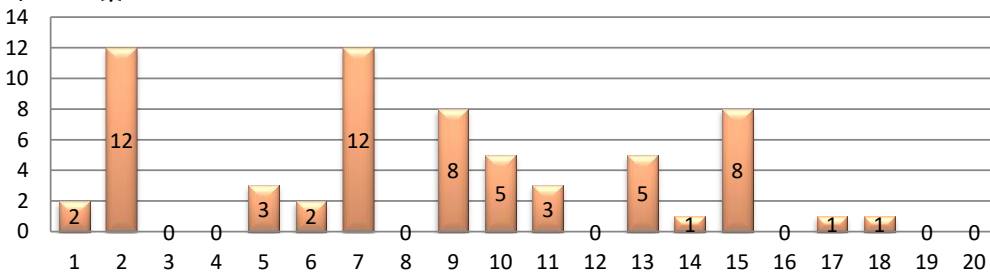
### 小売業



順位

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 4位 従業員の不足 |
| 2位 需要の停滞          |           |
| 3位 人件費の増加         |           |

### サービス業



順位

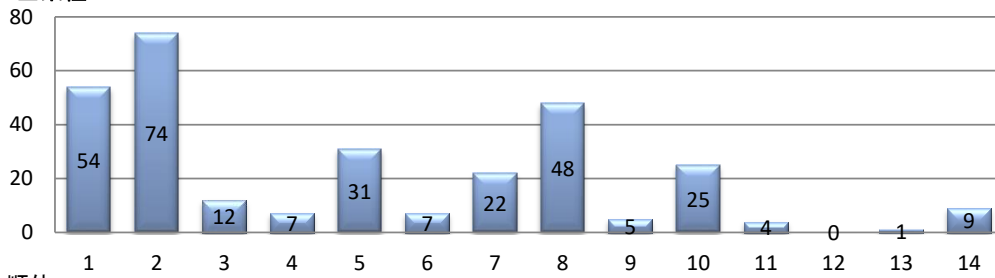
- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1位 需要の停滞           | 3位 従業員の不足        |
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇  | 5位 人件費の増加        |
| 3位 原材料・人件費以外の経費の増加 | 5位 熟練技術者(従業者)の不足 |

#### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化  | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

### 全業種



順位

1位 生産性を向上させたい

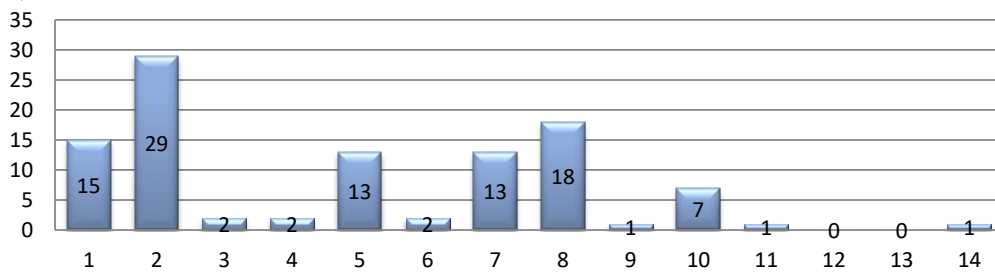
2位 従業員を新規雇用したい

3位 新規市場を開拓したい

4位 その他の合理化を実施したい

5位 経営の多角化を行いたい

### 製造業



順位

1位 生産性を向上させたい

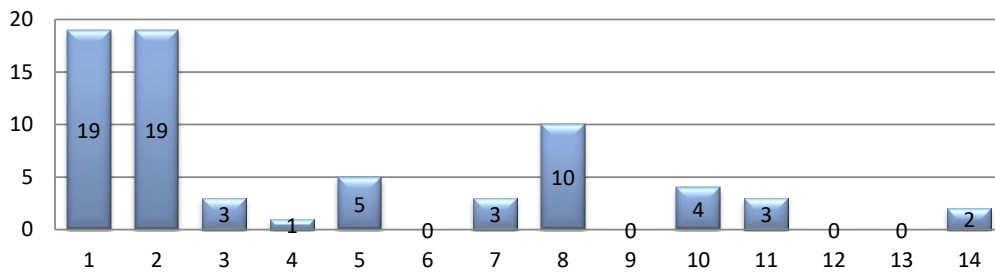
2位 新規市場を開拓したい

3位 従業員を新規雇用したい

4位 その他の合理化を実施したい

4位 新製品の開発を行いたい

### 建設業



順位

1位 従業員を新規雇用したい

1位 生産性を向上させたい

3位 新規市場を開拓したい

4位 その他の合理化を実施したい

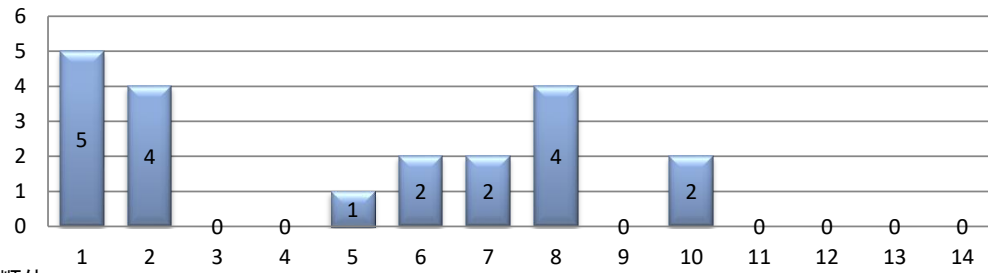
5位 経営の多角化を行いたい

#### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) |                     |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 8.新規市場を開拓したい                | 9.業種転換を行いたい         |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 14.その他                      |                     |

## 7. 今後の対応策

### 卸売業

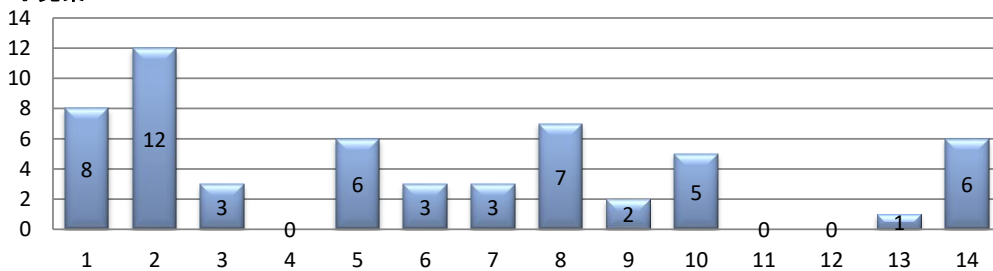


順位

- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい

- 4位 金融機関から資金を調達したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい

### 小売業

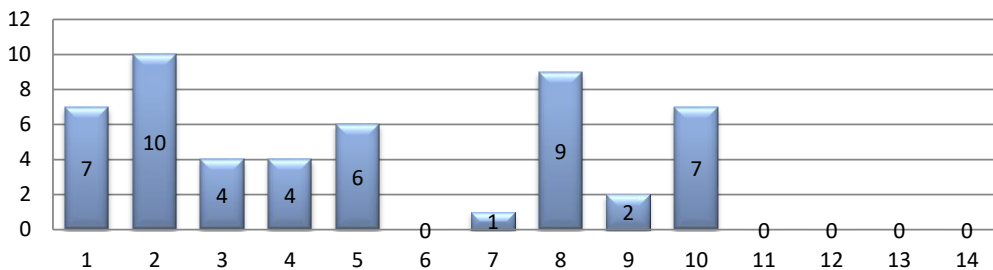


順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 3位 新規市場を開拓したい

- 4位 その他の合理化を実施したい
- 4位 その他(例えば:

### サービス業



順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 従業員を新規雇用したい

- 3位 経営の多角化を行いたい
- 5位 その他の合理化を実施したい

#### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	総合印刷	宮崎	用紙と書材料の値上がり、この転嫁を顧客にいかんにか認めていただくか、お客様が値上がりを認めてくれる雰囲気を大手や製紙メーカーはつくり出して欲しい。
製造業	印刷業	宮崎	借入に関する緩和を進めてもらいたい。コロナでの借入は、今回の景気対策の借入では一本化できない。数年後の支払いが不安になり、足踏みしています。
製造業	オイルシール	延岡	値上げに歯止めをかけてほしい
製造業	電気機械器具製造業	延岡	依然として新型コロナウイルスの影響による材料価格の上昇や材料不足が続いている。また、ロシアとウクライナの戦争によりサプライチェーンの混乱がさらに進む恐れがある。
製造業	プラントメンテナンス業	日向	Withコロナを見込んだ景気対策。県民のPCR検査無料の継続。
製造業	鉄工業	日向	現在、市内でのアパート建設が異常とも思えるほど、乱立しているが、特に問題ないのか、または日向市としての思惑があるのか知りたい。

製造業	コンクリート製品	日南	資材、エネルギーの高騰対策。
製造業	製材、集成材	日南	電気料金値上げに対する補助を検討してほしい。
建設業	木製家具、建具工事、内装工事、木工工事、建築一式工事	宮崎	公共工事における資材高騰の影響を調査していただきたい。下請け業者は悲鳴をあげている状況です。
建設業	塗装業	延岡	外国人の就労ビザの種類を増やして欲しい。技能実習生で優秀な人材がいた場合、日本人と同じように働いても良くなるようにできないでしょうか？
建設業	電気工事	延岡	コロナの感染を撲滅すること。感染者数の増減報道によって一喜一憂している。心配でならない。いつ仕事を止められて現場に工事入場できなくなるのか不安です。早期の感染撲滅に向け国の対策を期待致します。
製造業	焼酎製造販売	日南	ついに国、県、市行政や政治家、マスコミも飲食業関連業者への支援は何もなかった。何度も見直す機会があったのに誰も深く掘り下げ、追跡し、支援の在り方改善に努めることはなかった。全ての門戸を開き、コロナ前の人の動きに近づけるのが経済の復興、景気対策に不可欠。同時に増えるであろう感染者の受け入れ態勢作りが不可欠。各支援策は国民側から依頼されて始めるものではない。コロナとの共存が全ての仕組みを見直す原点になると思う。



小売業	百貨店	宮崎	雇用調整助成金の延長を望む。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	コロナ対策もまだまだ必要だが今からは農家へのフォローをもっと強化していくべき。もとぐされ病により芋系の生産者が非常に困っているし、それに伴い酒造メーカーもこれからの需要に対して供給が難しくなってくると思われる。
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	インボイスの申請をどうするか免税事業者(小規模事業)は課税売上高に対する課税仕入高が少ない飲食・サービス業や技術料を基本とする業種、大手の建設業の下請けを行う一人親方などの場合、課税売上税額－課税仕入税額＝納税額の費負担額が想像以上に大きく事業の継続が一層困難となる心配をしている。
小売業	切花鉢物販売	延岡	思わぬ出費もあり、資金難です。低金利で長期借入できる資金を求めています。
小売業	食品小売業	日南	消費・投資に対するマインドは冷え切っており、回復への見込みが厳しい。経営の安定化に向けた具体的な減税等の施策を示してほしい。
小売業	化粧品小売業	日南	理美容業は小規模事業者がほとんどであるが、労働条件の改善が進まず、他業界の人手不足もあって、人材の流出が続いている。労働基準法違反の取り締まりを強化してほしい。

小売業	小売酒販店	日南	景気の悪化により、好転の見込は期待できない。
建設業	建設業、不動産売買・賃貸・仲介・管理業	宮崎	世界的な値上げは材料値上げで弊社も直撃している。お客様の所得が上がらねば自社努力でこの値上げ分を吸収できるようにしなければならない。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	物価上昇を抑えて欲しい。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道早期開通に伴う予算確保。
建設業	建設業	日南	ある程度の補助や助成は必要であるが、常にプライマリーバランスを意識した上で対策を講じていただきたい。
建設業	建設工事業	小林	仕入価格がここ1年くらいの間には2割ほど上昇して経営に影響を及ぼしている。

建設業	建設業	串間	最近の相場で「坪いくらですか」等質問を受けますが、物価が上昇し続けている中、明確な答えもできず困っている。そんな中、大手は破格の値段で呈示広告され中小企業はますます逼迫するばかり。
卸売業	業務用製品卸	日向	withコロナで九州を見た場合、総じて大分県は経済活動を止めない政策に先じて実施しており、企業のダメージが他県より少なかったと聞きます。医療キャパの問題も承知していますが、今後、撤退するような政策はやめて頂きたく、早期にコロナを第五類へ位置づけし、コロナをある程度以上に共存していくことを期待します。
卸売業	青果卸	日南	国金に借入申し込んだけど、利益が出てないためか断られた。もう少し融通はできないものかと思う。現金仕入れ商売なので、手持ち余裕資金がないとこの事業はできません。
卸売業	建築資材卸	日南	国や県には思い切った施策を実行していただきたいと思う。ただ具体的にとなると、なかなか簡単にはいかないと思う。
サービス業	バス事業、旅行事業、航空事業、遊園事業、保険事業、熱供給事業、不動産事業	宮崎	物流コスト増加により軒並み物価が高騰している。いわゆる燃料であるが、定期バスの運賃を見直すと、利用者にとっては大変である。燃料に対する大幅な補助があればと思う。
サービス業	ホテル業	宮崎	コロナの影響により本来なら必要な設備の修理や入れ替えが資金不足により行えない。是非、設備投資に対する補助金を作ってほしい。(2/3以上の補助を希望します)

サービス業	飲食業	日向	小麦粉をはじめとする原材料の価格上昇はこれまでより幅が大きいので、値上げだけでそれを吸収するのは困難になっている。
サービス業	タクシー業	高鍋	観光事業に対する支援。
サービス業	ホテル業	高鍋	経済活動を維持していくためにも、重症化率や死亡率を考慮し、警戒レベルの見直しをしてほしい。
サービス業	タクシー	日南	タクシー業界もLPGの高騰で売上は上がらないのに支払いの方も大変である。飲食店と同様、支援の方よろしく願います。
サービス業	不動産管理	日南	景気対策として一時的に消費税を減税してほしい。減税によって消費マインドを高められると考える。
サービス業	産廃物処理業	串間	とにかく燃料費が高騰している。ガソリン税の減税等を求めたい。